

主 旨：

除染土壌の減容化の手法として、前回の講演会では物理的除去法（湿式分級による細粒分の分離等）をとりあげましたが、今回は化学的処理法をとりあげることとしました。放射性セシウムを含む土壌が中間貯蔵施設に貯蔵され、その減容化が求められる現時点で、各機関のこれまでの成果を持ちより、最も良い手法が何であるかを評価し、或いは改良を考えるのは良いことと思われます。是非ご参加ください。

- 主 催：一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会
(通称：環境放射能除染学会)
- 日 時：2019年1月28日(月) 13時30分～17時00分
- 場 所：ハロー貸会議室 新橋 H (ニュー新橋ビル8階 新橋駅前)
- 定 員：70名(会員および先着申込優先)
- 参加費：会員3,000円 非会員12,000円
- お 申 込：学会ホームページよりお申込ください。
- 問合せ先：環境放射能除染学会 東京事務所までメールにてお問い合わせ下さい。

お問い合わせアドレス：info@kh.josen.org

化学的処理を用いた除染法

講演1. 13:30～14:05 金属イオン含有亜臨界水による土壌分級物からのCsの高速イオン交換回収と高減容固定化	東京工業大学 竹下 健二
講演2. 14:05～14:40 酸を用いた除染法	愛媛大学 佐藤 久子
講演3. 14:40～15:15 化学薬品を用いた土壌細粒分からの放射性セシウム溶離技術について — フッ素系処理剤を用いた除染方法 —	水ingエンジニアリング株式会社 二見 賢一
休憩 15:15～15:25	
講演4. 15:25～16:00 プルアンブル型錯体を用いた放射性Cs吸着材と除染技術	産業技術総合研究所 川本 徹
講演5. 16:00～16:35 熔融塩によるセシウム除去	福島大学 佐藤 理夫
16:40～17:00 ディスカッション：化学処理法の課題	司会：森田 昌敏

※都合によりプログラムが変更になる場合があります。また、タイトルは一部仮題です。